

授業科目

小児看護学演習

【担当教員名】 松井由美子他	対象学年	3	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
 子どもとその家族の日常生活援助や治療・検査・処置に伴う援助を実施するために必要な知識・技術・態度を修得する。子どもの成長発達上の特性をふまえて、具体的な実践方法を学んでいく。実践においては、子どもの権利を尊重した接し方についても学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 子どものフィジカルアセスメントの方法について述べられる。
2. 子どものフィジカルアセスメントを実施し、得られた情報を系統立てて述べるができる。
3. 子どもの診療や日常生活の援助技術を安全・安楽に実施できる。
4. 子どもの応急処置と救急蘇生の方法を理解し、説明できる
5. 子どもの権利や尊厳を守り、子どもへの説明や同意を得る工夫ができる。
6. グループ活動の中で自分の役割を果たすことができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション～授業概要と演習の方法について		講義・グループ編成 松井
2	子どもの援助技術と環境調整	1,2	講義 松井
3	子どものフィジカルアセスメントと小児看護に必要な看護技術	1,2	講義とVTR 松井
4	子どものフィジカルアセスメントと小児看護に必要な看護技術	1,2	講義とVTR 松井
5	グループ別演習課題の設定と事前学習	6	グループワーク 松井
6	グループ別演習課題の設定と事前学習	6	グループワーク 松井
7	演習の準備（グループ別ロールプレイ）	6	グループワーク 松井
8	演習の準備（グループ別ロールプレイ）	6	グループワーク 松井
9	演習①フィジカルアセスメント（身体測定、バイタルサイン測定、発達診断法）	3,5	演習 小児看護全教員
10	演習②食事の援助（乳児の取り扱い、調乳・授乳、離乳食の食事介助、口腔ケア）	3,5	演習 小児看護全教員
11	演習③与薬の援助（経口与薬、坐薬の挿入、吸入法、輸液療法、プリパレーション）	3,5	演習 小児看護全教員
12	演習④身体の清潔と排泄の援助（全身清拭・洗髪・更衣、おむつ交換、排泄援助）	3,5	演習 小児看護全教員
13	小児の応急処置と救急蘇生	4	講義・演習 岩田・松井
14	演習のまとめ・グループ発表	6	グループ発表 松井

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	ナーシンググラフィカ29	小児看護技術 中野綾美編	メディカ出版	2007年 3360円
参考書	こどものフィジカルアセスメント	小野田千枝子	金原出版	2001年 4200円
	写真でわかる小児看護技術	山元恵子監修	インターメディカ	2006年 2625円
	根拠がみえる臨地実習のすべて5	小児看護学 小野ツルコ他著	メヂカルフレンド社	1999年 2205円
その他の資料	VTR「小児のフィジカルアセスメント」			
	VTR「小児看護の技術」			

【評価方法】 演習への参加状況(60%)と筆記試験(40%)	【履修上の留意点】
-----------------------------------	-----------

看護学 専門